

国道2号

加古川バイパス

KAKOGAWA BYPASS



国土交通省 近畿地方整備局 姫路河川国道事務所

事業の背景

京阪神地方と中国、九州地方を結ぶ主要幹線道路である国道2号は、往古の山陽道を主体とし、幅員7m～11mの道路が計画され、神戸～姫路間については戦前に、また、姫路～船坂間(岡山県境)については戦後まもなくいずれも国の直轄事業として施工された。

しかしながら、昭和30年代に入り自動車交通が急激に増加し、神戸以西の沿線市街地においては通過する長距離交通と近郊からの発生交通によって国道2号が極度に混雑することが予想された。

このため、国道2号の通過交通を処理する目的で播磨国道として調査に着手し、これに基づいて第二神明道路、加古川バイパス、姫路バイパスと連なる一連のバイパスを順次整備してきたものである。

事業の概要

加古川バイパスは、第二神明道路(有料)の終点である明石市魚住町清水(明石西ランプ)を起点とし、高砂市阿弥陀町魚橋(高砂北ランプ)を終点とする延長12.2Kmの自動車専用道路である。

加古川バイパスは、国道2号の交通混雑を解消するとともに、播磨工業地帯と京阪神を結ぶ幹線輸送路として調査を開始した。そして、昭和35年度には用地買収に着手し、昭和39年度より工事を始め、昭和45年3月に本線部北側2車線及び北側側道部を全線にわたって暫定供用した。

その後、引き続いて本線部南側2車線及び、南側側道部の建設に着手し、昭和49年3月に全線4車線にて供用を開始したものである。

1. 構造規格

構造規格	第1種3級 V=80Km/h
車道幅員	3.5m*4車線(本線部)、5m1車線*2(側道部)
最小曲線半径	400m(本線部)
最急縦断勾配	3.8% (本線部)

2. ランプ設置状況

名称	構造	接続道路	ランプ間距離
明石西I.C	フルランプ	県道 宗佐土山線	4.1Km
加古川東ランプ	フルランプ	県道 八幡別府港線	3.3Km
加古川ランプ	フルランプ	県道 加古川小野線	1.0Km
加古川西詰ランプ	上り方向ハーフランプ	バイパス側道	1.9Km
加古川西ランプ	フルランプ	県道 高砂北条線	1.9Km
高砂北ランプ	上り方向ハーフランプ及び下り方向ONランプ	一般国道2号	

事業の経緯

昭和35年度 用地買収着手
昭和39年度 工事着手
昭和45年3月 暫定2車線供用開始

昭和45年4月 南側2車線と南側側道部の
施工着手
昭和49年3月 全線4車線で供用開始

加古川市の概要

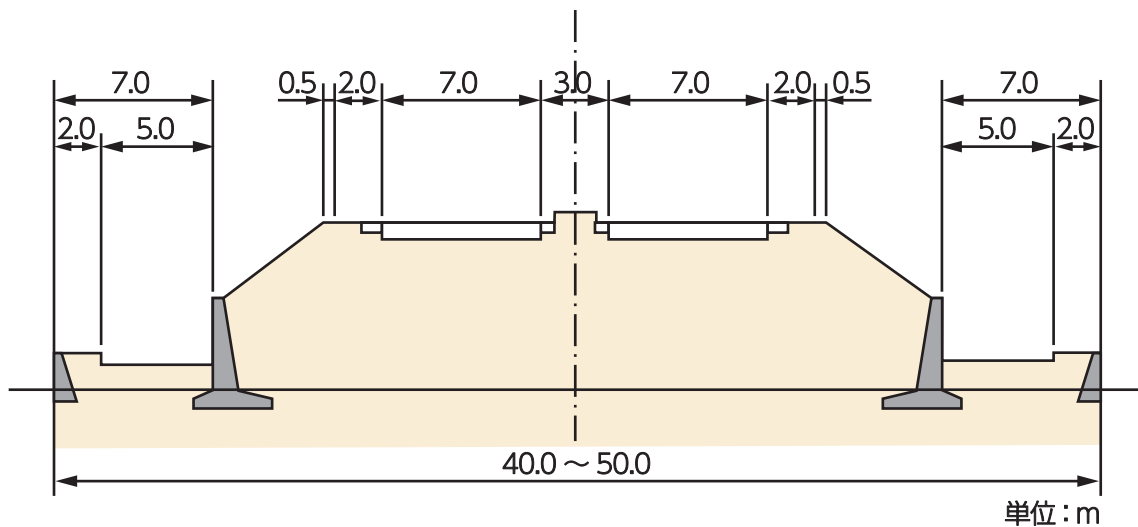
加古川市は、播磨平野の中央部に位置し、古くから交通の要衝として栄えました。また、播磨平野を貫流する加古川河口に広がる豊かな自然に囲まれた地域です。海岸線には、鉄鋼工場、機械器具製造業があり、播磨臨海工業地帯の一翼を担っています。

現在は、国道2号線、国道2号加古川バイパス、国道250号線等の道路網の整備が進み、転入者が増加したことにより、商業施設や住宅地が次々と開発されています。歴史・文化・自然・産業が調和した加古川市は、今後も更なる発展が期待されています。

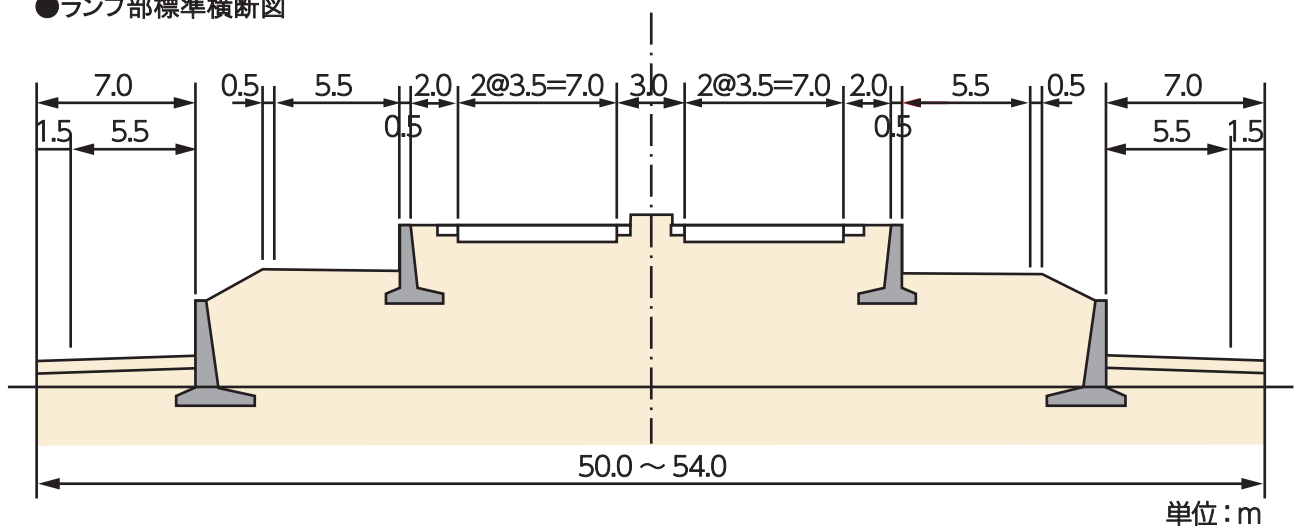
面積	・138.48km ²
人口	・256,078人 (R6.2.1時点)
代表産業	・鉄鋼業、はん用機械器具製造業、電気機械器具製造業、食料品製造業、生産用機械器具製造業等
観光	・加古川、高御位山、鶴林寺、みとろフルーツパーク等

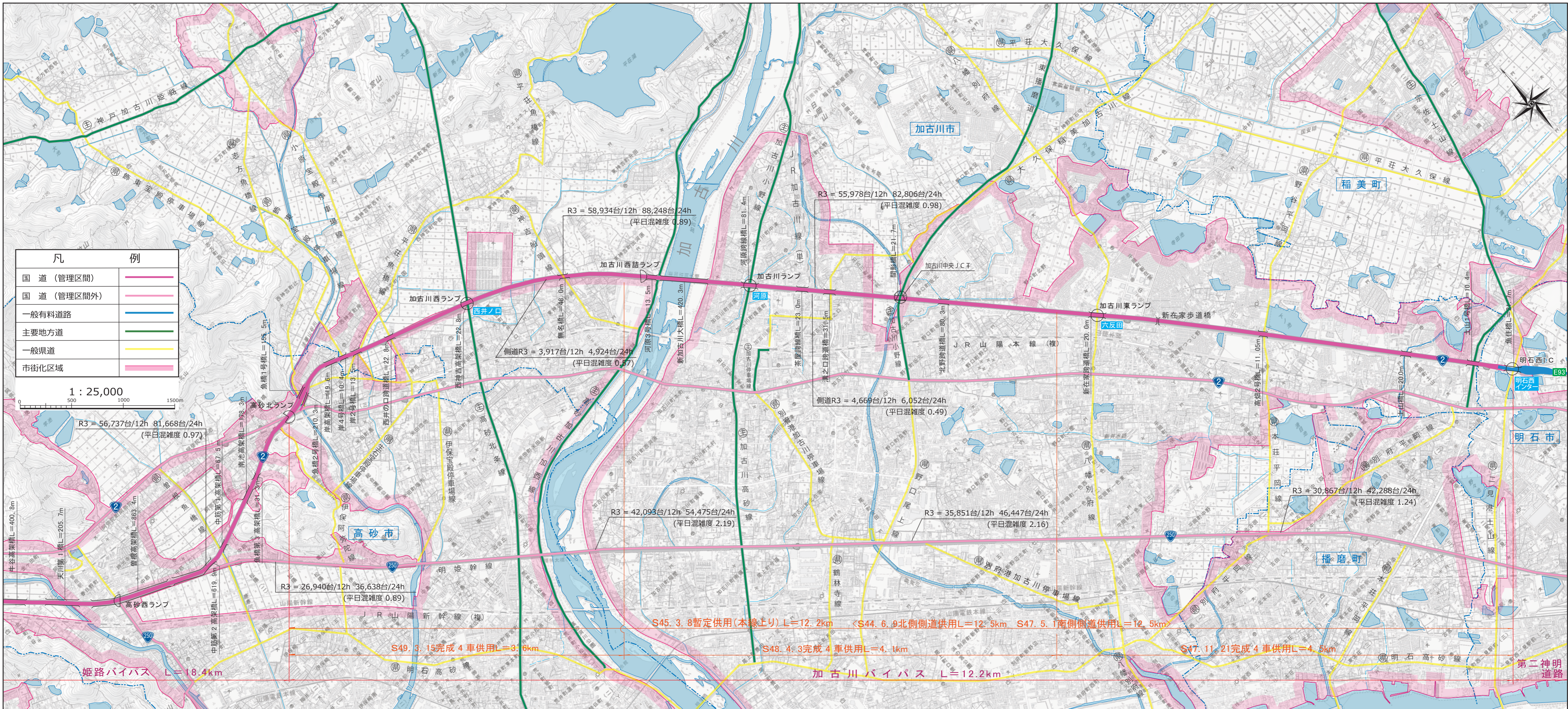
標準横断図

●標準横断図



●ランプ部標準横断図





凡	例
国道 (管理区間)	
国道 (管理区間外)	
一般有料道路	
主要地方道	
一般県道	
市街化区域	

1 : 25,000
 0 500 1000 1500m

R3 = 56,737台/12h 81,668台/24h
 (平日混雑度 0.97)

R3 = 26,940台/12h 36,638台/24h
 (平日混雑度 0.89)

R3 = 58,934台/12h 88,248台/24h
 (平日混雑度 0.89)

側道R3 = 3,917台/12h 4,924台/24h
 (平日混雑度 0.57)

R3 = 42,093台/12h 54,475台/24h
 (平日混雑度 2.19)

R3 = 55,978台/12h 82,806台/24h
 (平日混雑度 0.98)

側道R3 = 4,669台/12h 6,052台/24h
 (平日混雑度 0.49)

R3 = 35,851台/12h 46,447台/24h
 (平日混雑度 2.16)

R3 = 30,867台/12h 42,288台/24h
 (平日混雑度 1.24)

S45. 3. 8 暫定供用 (本線上り) L=12. 2km < S44. 6. 9 北側側道供用 L=12. 5km S47. 5. 1 南側側道供用 L=12. 5km

S49. 3. 15 完成 4 車供用 L=3. 6km

S48. 4. 3 完成 4 車供用 L=4. 1km

S47. 11. 21 完成 4 車供用 L=4. 5km

姫路バイパス L=18.4km

加古川バイパス L=12.2km

第二神明道路

「測量法に基づく国土地理院長承認 (複製) R 4JHF 442」
 「本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。」

位置図



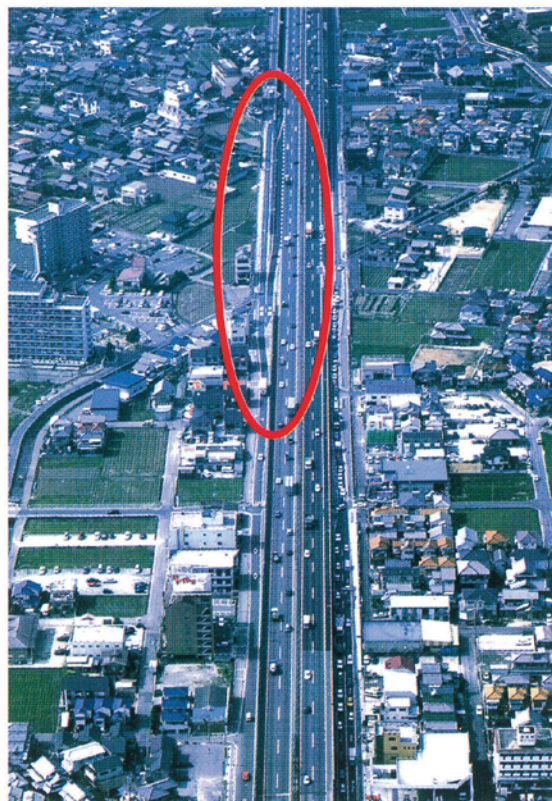
主要構造物諸元

橋 梁 名	延長 (m)	支間数	架設年	交 差 物 件
土 山 橋	20.0	1	S41	喜頼川
土山橋側道橋	20.0	1	S43	喜頼川
新在家歩道橋	46.5		S57	加古川バイパス
新在家跨道橋	20.0	1	S41	県道八幡別府線
北 野 橋	80.3	2	S43	県道野口尾上線
間 形 橋	21.7	1	H23	城ヶ池川
溝之口跨道橋	31.5	1	H22	県道大久保稲美加古川線
茶屋跨線橋	23.0	1	S43	JR加古川線
河原跨道橋	81.4	3	S44	県道加古川小野線
新加古川大橋	420.3	9	S42	加古川
無 名 橋	48.0	2	S44	県道神吉船頭線
西神吉高架橋	22.8	1	S43	県道高砂北条線
西井の口跨道橋	22.8	1	S44	県道小原宝殿停車場線
魚橋1号橋(ONランプ)	155.5	9	S45	法華山谷川
魚橋2号橋(OFFランプ)	210.3	4	S45	法華山谷川、国道2号

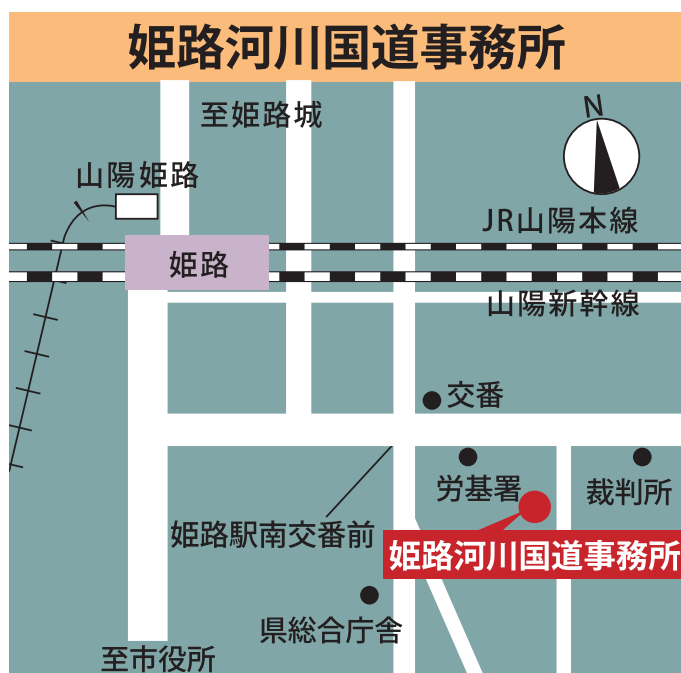
注：20m以上の橋のみ記載した。



加古川東ランプ(下り)ONランプ改良前



加古川東ランプ(下り)ONランプ改良後



国土交通省 近畿地方整備局 姫路河川国道事務所

〒670-0947 姫路市北条1丁目250番地

TEL.079-282-8211 (代表)

<https://www.kkr.mlit.go.jp/himeji/>

話そうはりま



姫路河川国道事務所Xアカウント
X @mlit_himeji



道路緊急ダイヤル

道路の異常を発見したらお知らせ下さい

落下物 落石 雪崩 路面の 道路施設
落木 気象災害 穴ぼこ の破損 など

全国共通
電話番号 #9910